

歯科口腔外科

歯科口腔外科：選択研修

指導医：歯科口腔外科部長、歯科口腔外科医長、指導医の資格のある医員

上級医：臨床経験が8年以上あるが指導医養成講習会未受講の医員、および臨床経験7年以下の歯科医師

指導者：病棟の看護師長、歯科口腔外科外来専従看護師、歯科衛生士、歯科技工士

●一般目標（GIO）

歯および口腔の健全な機能が全身的な健康を支えているという認識を養いつつ、患者中心の全人的医療を理解するとともに、疾病の診断、治療に関する知識を修得することを目的とする。

●行動目標（SBOs）

- ・ 医療人として好ましい態度・習慣を身につける。
- ・ 医の倫理を体得し、患者および家族とのよりよい人間関係を確立する。
- ・ 全人的な視点から得られた様々な医療情報に基づいた総合治療計画を立案する。
- ・ 顎顔面口腔の疾患の病理、病態生理を理解出来る。
- ・ すべての医療従事者の役割を説明する。
- ・ 患者および医療従事者とのコミュニケーション能力を身につける。
- ・ 歯科医療の社会的役割を理解する。
- ・ 誤嚥性肺炎の視点から「オーラルケア」の大切さを理解する。

●方略

<医療連携>

- ・ 患者中心の全人的医療を理解し、包括的な歯科医療を理解するとともに、顎顔面口腔の特有な疾患の診察能力を修得する。
- ・ 研修内容には、周術期口腔機能管理、自己免疫疾患患者のステロイド加療・ビスフォスフォネート製剤使用にかかる口腔内スクリーニングも含まれる。
- ・ コメディカル部門研修として、半日/年（×2年）の研修を全ての研修医がローテーションし「オーラルケア」の実際を経験する。

<専門分野>

- ・ 希望者には、歯科医療の専門分野である「口腔外科」「障害者歯科」を対象に研修を実施する。

<症例検討会>

- ・ 毎週2回の症例検討会に参加する。
- ・ 各種多職種カンファレンスに参加する。

<勉強会>

- ・ 毎週 1 回の勉強会に参加する。歯科口腔外科研修中に 1 回は発表を担当する。

< 学術活動 >

- ・ 学会等に指導医とともに参加し、積極的に発表する。

< 週間スケジュール >

	月	火	水	木	金
8:30 ～	医療連携 (外来)	医療連携 (外来)	医療連携 (外来)	医療連携 (外来)	医療連携 (外来)
12:00					
13:30 ～	医療連携 (外来)	医療連携 (手術室)	医療連携 (外来)	医療連携 (手術室)	医療連携 (外来)
17:00	症例検討会	勉強会		症例検討会	

● 評価 (コメディカル部門研修も含め)

- ・ 病院として定めた評価方法にて評価を行う。
- ・ 評価者は、指導医、指導者が行う。
- ・ 研修医からの評価も必ず施行する。

● 参考資料

< 基本的検査手技および治療手技 >

1. 基本的検査手技
 - 1) 採血手技 (静脈血)
 - 2) 採尿法
2. 臨床検査の実施と評価
 - 1) 一般血液検査、血液像
 - 2) 尿、便一般検査
 - 3) 血液生化学検査
 - 4) X線検査 (単純、造影、CT、MRI)
 - 5) 心電図
 - 6) 細菌培養検査
 - 7) 血液ガス分析
 - 8) 血糖の簡易測定
 - 9) 凝固学的検査
 - 10) 鎮静 (静脈麻酔)
3. 基本的治療手技

- 1) 静脈注射、皮下、皮内、筋肉注射
- 2) 点滴法
- 3) 救急処置（外傷、出血）
- 4) 経管栄養
- 5) 蘇生（人工呼吸、気管内挿管）

< 歯科口腔外科領域的研修内容 >

1. 口腔、顎、顔面の視診、触診などの検査
2. 各種 X 線写真検査（唾液腺検査など）
3. う蝕治療、補綴物の作成
4. 各種口腔外科手術の手技の習得
5. 入院患者の術前、術後管理